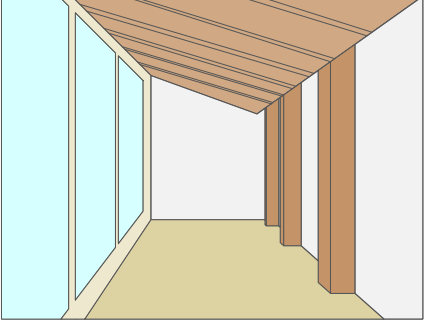


1. 農業と仕事の両立

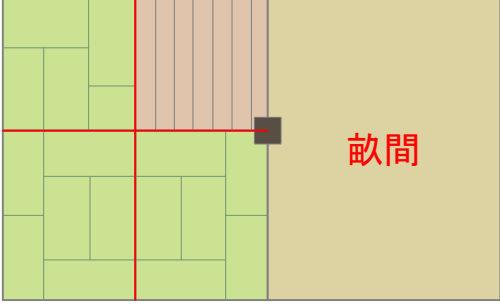


農作業のための畝間
農作業の汚れを持ち込まない



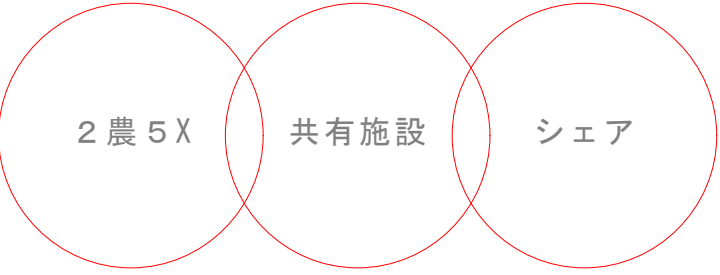
ワークスペース
5日Xに集中できる環境

2. 歴史的財産の継承

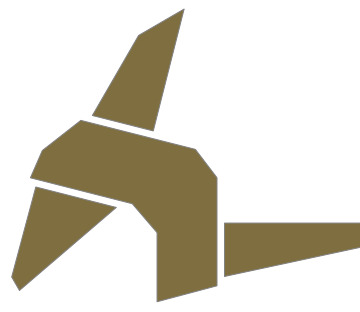


田の字型をもとにした計画
古民家を生かした廊下のない間取り

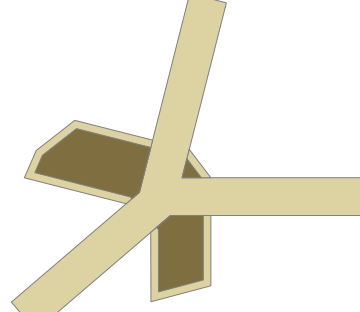
3. つながる関係



自然に関係をつくる
住民とシェア畑利用者を共有施設を
通じて自然につなぐ



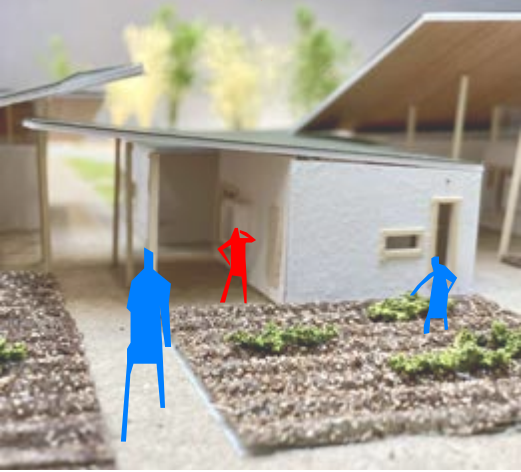
畑をつなぐ
互いの畑を挨拶感覚で覗き関係を築く



動線をつなぐ
動線を重ね交流のきっかけをつくる



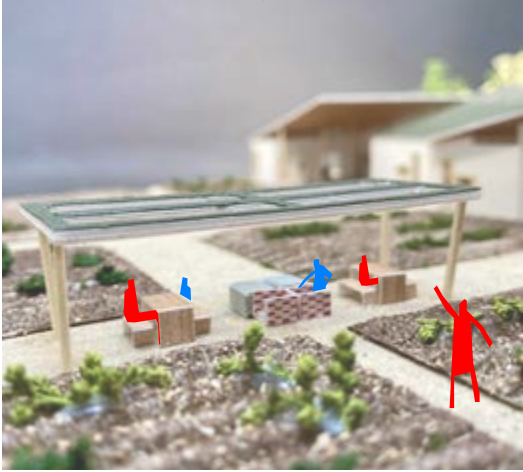
縮尺:S=1/400



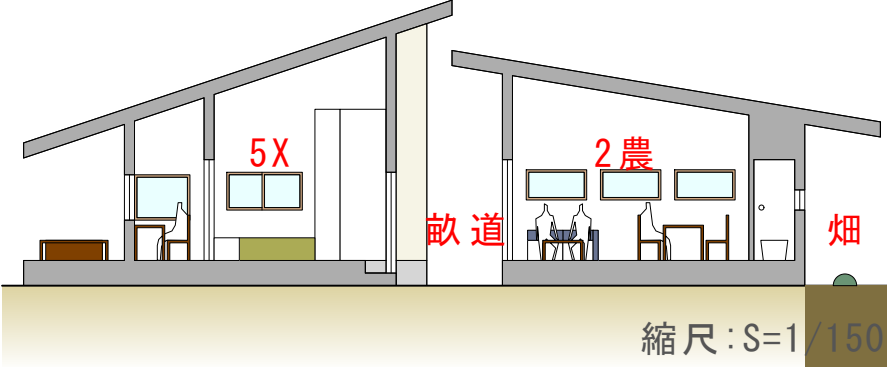
畝間の先に広がる畑
住宅や動線、交流の場の
延長線にあることで畑に
関心を持てる。



Xとしての開放的な空間
仕事・勉強に集中するXが
休憩時間に犬の散歩など
自由に癒しが求められる
個性あふれる空間。



つながり
かまどは住民とシェア畑利用者
を繋ぎ、コミュニケーションの
きっかけをつくる。



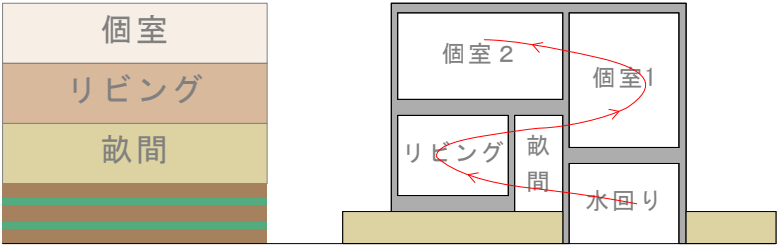
縮尺:S=1/150



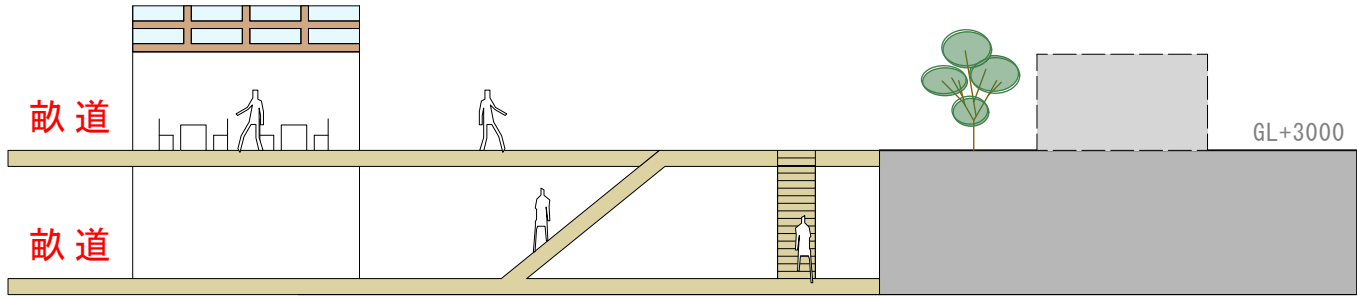
縮尺:S=1/400

タテ住宅計画（食品研究/テクノロジー/学び）

タテにつなぐ



畝道を中心としてタテに空間を
繋ぎ、畑と5Xに境界を設ける



畝道がタテにつながり、共有施設と区
画を結び新たな動線をつくる

食品研究ゾーン

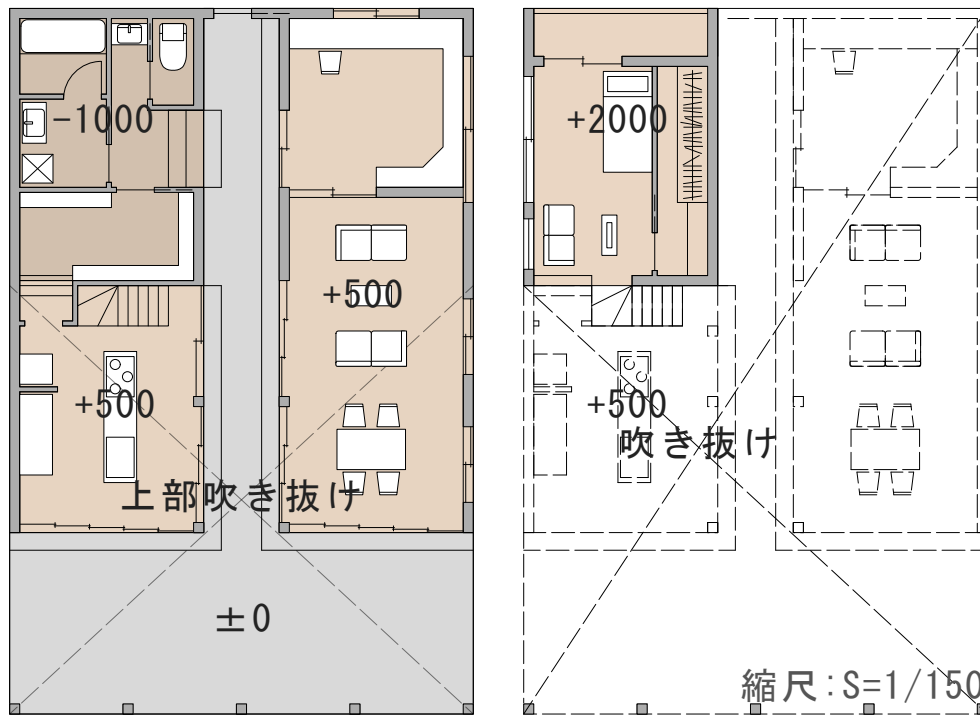
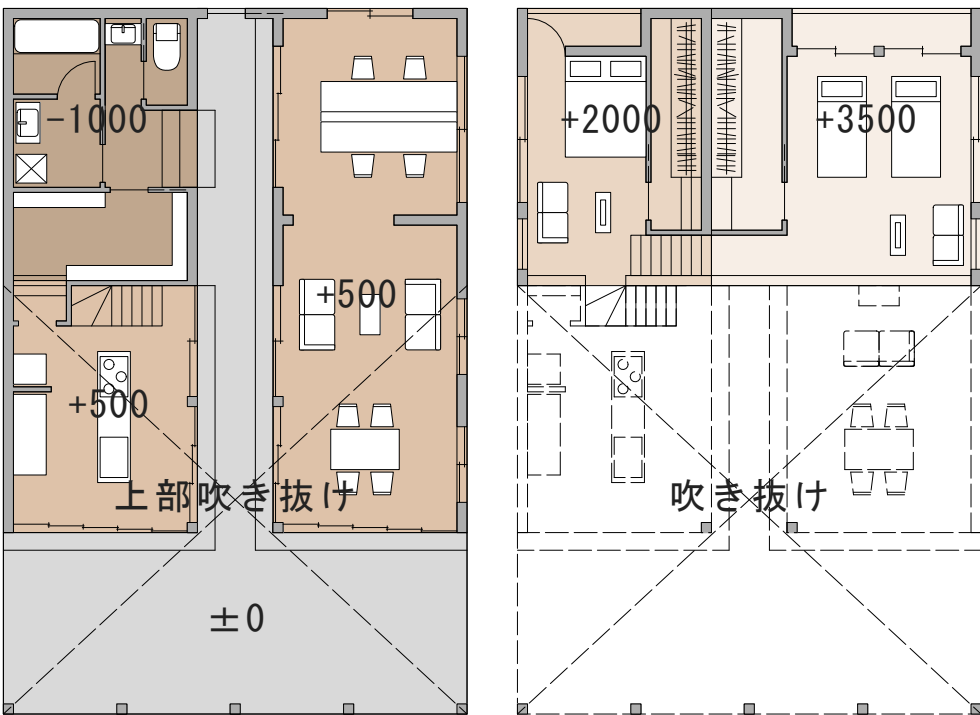
仕事をしながら育てた野菜を使い、料理や食品加工、品種改良に挑戦する

<家族プラン>

働きながら食品研究所に通っている

<単身プラン>

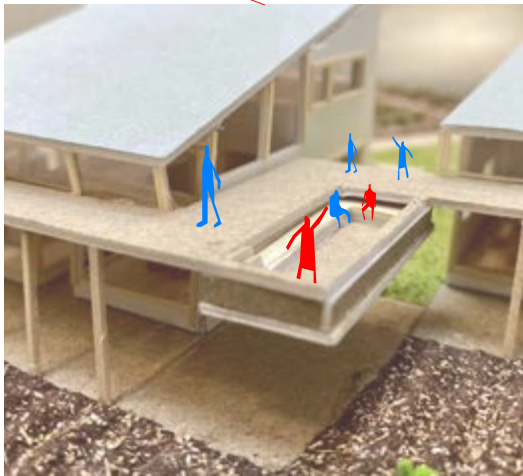
食品加工の勉強中の人物



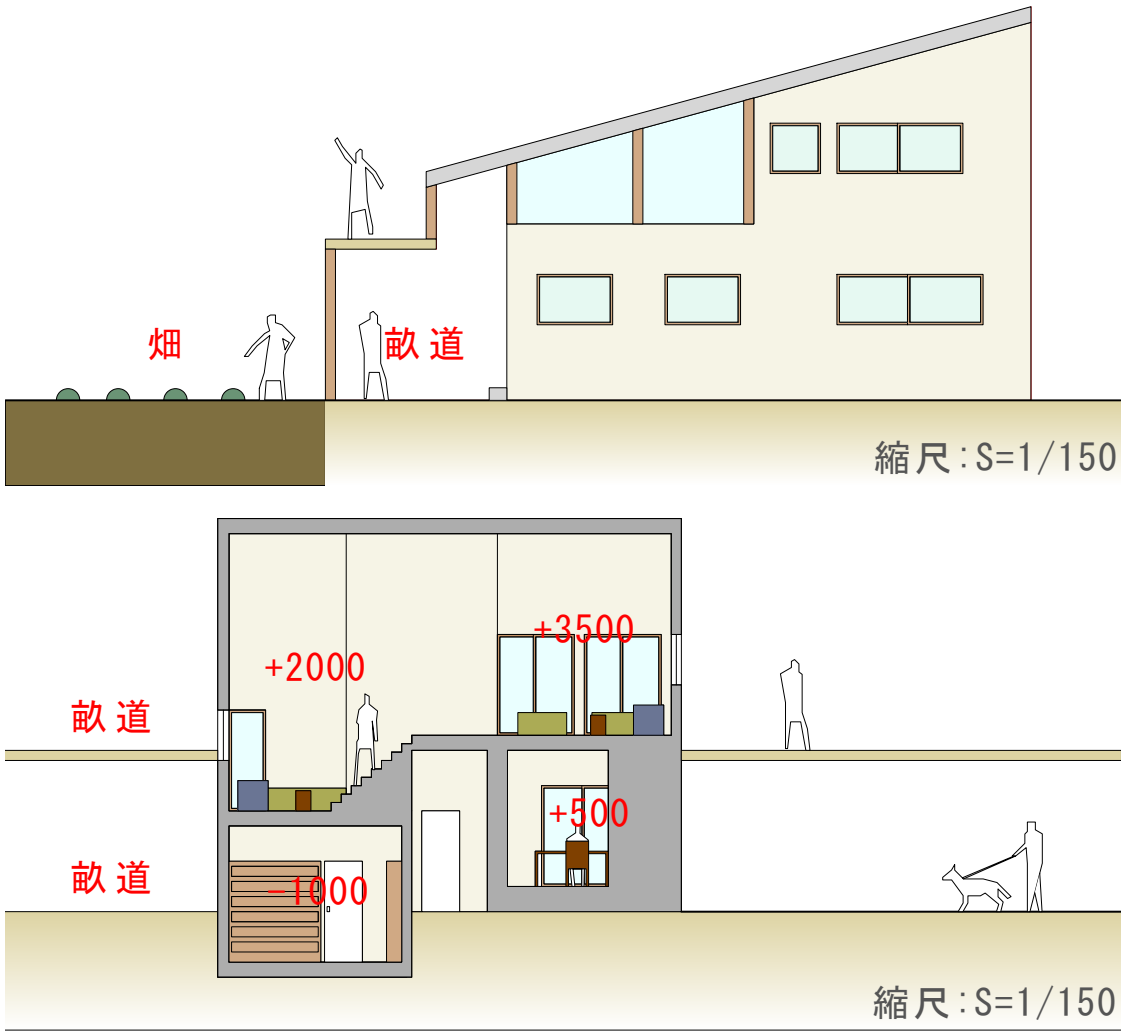
縮尺:S=1/150



畑を見守りながら研究
温室を中心としてキッチン・加工場・
飲食スペースが広がり、食品研究につ
とめながら住民とシェア畑利用者との
関係を築く



関係が始まる場所
隣接した畑を通したコミュニケーション
をこえ、日常的に住民同士の関係を
作り出すことができる休憩スポット



縮尺:S=1/150